※令和４年度以降入学生用

学校番号	T2101

令和５年度　国際教養科

教科	国際教養	科目	（学）日本語	単位数	１～１０単位	年次	１～４年次
使用教科書							
副教材等	自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

【読む・書く】能力と【話す・聞く】能力にわけてそれぞれ毎回テストを実施し、客観的なレベルをはかりながら、日本語能力の向上をめざします。

２　学習の到達目標

日本語能力試験各級の合格をめざし、学校生活・日常生活に必要な日本語能力を育成する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本語を母語としない生徒が日常生活を送る、また本校の普通教科の科目を受講するために必要な日本語能力を身につける。	日常生活や授業の中で用いる文字や会話に加え、日本語能力試験各級への合格をめざし、【読む・書く】能力と【話す・聞く】能力にわけてそれぞれ到達度確認テストを実施し、客観的なレベルをはかるとともに、知識をもとに思考、判断、表現する力を養う。	相互理解を深めるため、日本語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに、日本語や日本文化に対する関心を高める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月～8月 & 10月～2月	【文字】 ・ひらがな／カタカナ ・漢字（Ｎ３まで約６００字） 【文法】 ・助詞の使い方 ・動詞文（丁寧体・普通体） ・動詞の活用（辞書形／て形／意志形／条件形／命令形／禁止形／可能形／受身形／尊敬形／使役形／使役受身形） ・い形容詞とな形容詞の活用 ・その他文型を使った定型的な文の書き方 【読解】 ・日常的な話題や日本文化を知るための文章を読む ・新聞雑誌／平易な評論を読む 【聴解・会話】 ・穴埋め／口頭練習 ・ペアワーク／ロールプレイ	【話す】 ・センテンスで話す ・ロールプレイテストを使って：日常的な話題について話し、自分の意見を述べる。 【聞く】 ・拍を聞き取る ・日常的な会話や身近な内容を、自然に近いスピードで聞き取る ・まとまりのある会話やニュースを聞く 【書く】 ・漢字かな交じり文を書く ・既習文法事項を使って作文を書く 【読む】 ・日常的な話題の文章の内容を理解する ・幅広い話題の文章を理解する	a: 文字（ひらがな・カタカナ）の書き取りができる。 a:文法事項の意味・使い方を理解できている。 a:聴解（穴埋め）ができている。 a:漢字・語彙の基礎的な知識を身につけている。 a:一文字一拍の原則を理解している。 a:Ｎ３合格に必要な漢字約600字を読み、書くことができる。 b:文法事項の変換・代入を通じて定着をはかることができる。 b:それぞれの課の会話をスムーズに発音するために必要な工夫を考えることができる。 b:一文字一拍の原則において、拗音（きゃ・きゅ・きょ等）が二字で一拍になることを理解し、使うことができる（学習者の母語によっては、長音（―）、促音（っ）、撥音（ん）が一拍と認識されず、誤りのもとになるので気をつける）。 c:日本語能力の向上に意欲をもって取り組んでいる。	授業 ﾌﾟﾘﾝﾄ 観察 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 小テスト 定期考査	授業 ﾌﾟﾘﾝﾄ 観察 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 小テスト 定期考査	授業 ﾌﾟﾘﾝﾄ 観察 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 小テスト 定期考査

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度